学校体育功労賞を受賞して

熊本市立城南中学校　校長　稲田　奈保美

正門にある桜の木に硬い蕾がついています。蕾が膨らみ咲き誇る頃には長い教職生活が終わることとなり、感無量な感覚がゆっくりと胸にしみいる感じです。

このたびは、熊本県学校体育功労賞を賜り誠にありがとうございます。とはいえ、私などがいただいて良いものかと思いめぐらすとともに、これまでお世話になった皆様のおかげであると改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

昭和５１年に私の教職生活は錦ヶ丘中学校でスタートし、５人の体育の先生方と出会います。当時の郷校長先生は市中体連会長であり、県中体研の理事長もおられました。力量のある先生方がお揃いでそんな貴重な環境にいながら、学生気分の私は、授業を、部活を、関わりをただただ楽しんでいました。その当時、女子体育研究会があり年に数回のダンス指導や教科指導についての勉強会に非常に緊張して参加していたのを思い出します。さらに、研修や授業研究会などに参加することは大変勉強になり、学んだものを自分のものとして整えていくという作業を通して、自分のスタイルができていったように思います。生徒たちが「体育は楽しい」と感じる体育の授業を目指し、目標を持たせるために単元ごとに準備する学習ノートや学習カードの活用は効果がありました。個人・グループの目標を明確にし授業に取り組ませる手立てをうち、学習ノートにはアドバイスや励ましを行ない、生徒が自己評価を通し次の時間の目標を設定させることで、意欲的に授業に取り組む姿を目指しました。できたら褒めることで伸びを実感させ体育が得意な子はもちろん、苦手だと言っていた生徒も学年の終わりに「体育は苦手だったけど、授業は楽しみだった。」というコメントはどれほど嬉しかったか、本当に体育の先生になって良かったと思える瞬間でした。

県・九州・全国中体連大会などにスタッフとして起用していただき、運営に関わらせていただいた経験は大きな糧となり、学校運営をする上での力になったと思っています。

また、自分を育ててくれたバレーボールへの恩返しは、「人を育てる」という視点で指導してきましたが、特に、幼い我が子を連れての部活動指導は、生徒たちが大人になった時に感じてくれるものがあるようです。

近年は、体育研究会や性に関する指導、養護教諭会・学校保健会と若い先生方の活躍を応援し、先生方の力になることが最終的には子どもたちのためであるという思いで勉強させていただきましたが、ここでも教えることの難しさを痛感しました。

教職最後の年に熊本市中体連・中体研会長及び熊本県中体連・中体研副会長という名誉ある職を仰せつかり、何もできませんでしたが、多くのことを学ぶ機会を得たことは生涯の宝物であると感謝します。最後になりましたが、熊本県中学校体育研究会並びに熊本県中学校体育連盟のますますのご発展を祈念申し上げます。本当にお世話になりました。そして、ありがとうございました。